

化学療法レジメンセット 登録用紙

コード : XELIC1
 レジメン名称 : XELIRI+C(初回)

新規
 変更

提出日 : 2021 年 9 月 1 日
 承認日 : 年 月 日

適応がん種 : 大腸
 インターバル日数 : 21日
 予定コース数 : PDまで

消化器内科 : 消化器センター部長 喜多 宏人
 消化器外科 : 医長 中田 博
 確認薬剤師 : 薬務主任 植木 大介

Rp.No.	癌	薬剤名	投与量	手技	投与経路	点滴時間・速度	day(1)	day(8、15)
1		ポララミン注5mg	1A	点滴静注	末梢メイン	30分	Rp1 30分 ポララミン注5mg デキサート注6.6mg アロカリスバイアル235mg グラニセトロンバッグ3mg ↓ Rp2 2時間 アービタックス点滴静注 生理食塩液250mL ↓ Rp3 90分 イリノテカン注射液 5%ブドウ糖液250mL ↓ Rp4 5分 生理食塩液50mL	Rp1 15分 ポララミン注5mg 生理食塩液50mL ↓ Rp2 1時間 アービタックス点滴静注 生理食塩液250mL ↓ Rp4 5分 生理食塩液50mL
		デキサート注(day1)	6.6mg					
		アロカリスバイアル235mg(day1)	1V					
		グラニセトロンバッグ3mg(day1)	1本					
2 *		アービタックス点滴静注(day1)	400mg/m ²	点滴静注	末梢メイン	2時間		
		生理食塩液250mL(day1)	1本					
2 *		アービタックス点滴静注(day8,15)	250mg/m ²	点滴静注	末梢メイン	1時間		
		生理食塩液250mL(day8,15)	1本					
3 *		イリノテカン点滴静注(day1)	200mg/m ²	点滴静注	末梢メイン	90分		
		5%ブドウ糖250mL(day1)	1本					
4		生理食塩液50mL	1本	点滴静注	末梢メイン	5分		
5 *		カペシタビン錠	1600mg/m ²	内服	経口		Rp5 day(1)夕食後～day(15)朝食後 カペシタビン錠 1日2回内服	

上記表にて設定する抗がん剤について

Rp.No.	薬剤名	設定値	上限値
2	アービタックス点滴静注(day1)	400mg/m ²	
	アービタックス点滴静注(day8,15)	250mg/m ²	
3	イリノテカン点滴静注	200mg/m ²	
5	カペシタビン錠	1600mg/m ²	

<特記事項> 最終更新:2023年9月 アロカリス導入
 ①カペシタビンはday1夕～day15朝まで内服(朝・夕食後)。その後7日間休薬。
 ②カペシタビン投与量(1600mg/m²/day)
 BSA <1.31m² 1.31-1.69m² 1.69-2.07m² 2.07m² ≤
 用量 1800mg/day 2400mg/day 3000mg/day 3600mg/day
 ③day1とday8、15でアービタックスの投与量、投与時間が異なっている
 ④投与前にイリノテカンの代謝酵素であるUDP-グルクロン酸転移酵素の2つの遺伝子多型(UGT1A1*6、UGT1A1*28)の確認が推奨される
 ⑤65歳以上ではイリノテカン、カペシタビンを80%に減量して開始する